名称:SWS金型製作標準

No.: I-005

ページ:1/4

【目的】

SWSのCSRに対応した金型を製作する

【適用範囲】

SWS(OEM)の金型

【内容】

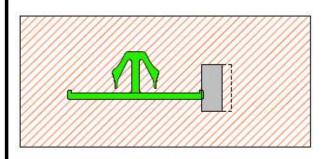
1.入れ子(コアピン)の溶接による固定禁止

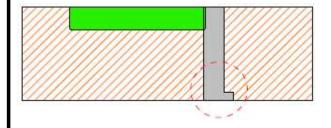
入れ子(コアピン)を固定していた溶接が剥がれ、入れ子(コアピン)が飛び出して形状不具合が発生した為、

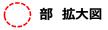
溶接による入れ子(コアピン)の固定を禁止とする

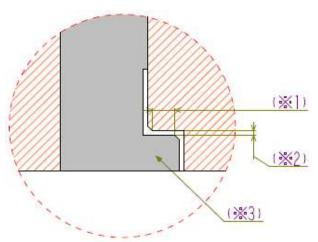
※入れ子(コアピン)の固定はボルト又はツバ止めによる固定方式とする

《ツバ止め方式》









- (※1) ツバ部は面取り部を除くストレート面を2.0mm以上(注1)確保する事(設定困難な場合は、0.5mm以上を可とする)
- (※2) ツバ高さクリアランス 0.05~0.1mm以下の事
- (※3) ツバ形状は極力 入れ子の長手方向に設ける事

(注1)SWS要求は0.8mm以上ですが、社内基準に準じて2.0mm以上で記載

13.3		- CALPS E	73 (шо-	117-74			
符号	改訂内容	改訂日	承認	作成	VH3	HAR	VHI V
1					(活)	(藤)	(海)
2						(*)	3
3					2022/2/7	2022/2/7	2022/2/7
4					承認	審査	起案

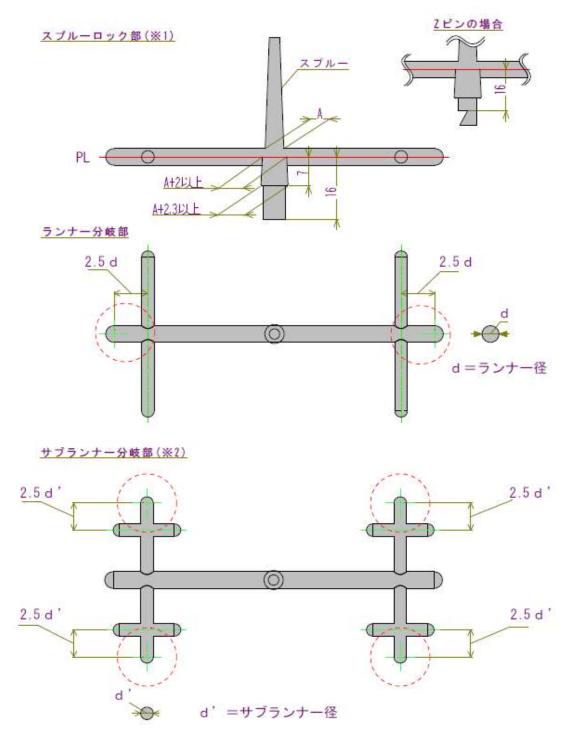
【配布先】 なし(仕様確認用)

No.: I-005

ページ: 2/4

2.樹脂溜まり(コールドスラグウェル)設定寸法

コールドスラグがゲートに詰まり、ショート不具合が発生した為、 下記寸法の樹脂溜まり(コールドスラグウェル)を設ける事



- (※1)スプルーロック部は指示寸法を遵守する事で、不具合やサイクルロスのリスクがある場合、 客先の承認を得て対策を織り込む事(同体積で指示寸法を遵守する等)
- (※2)サブランナーの分岐部は、スペース上設置できない場合を除き織り込みの事

※全て上記寸法以上は可とする

名称:SWS金型製作標準

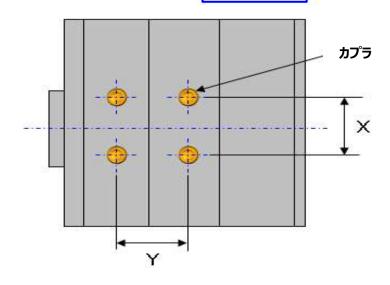
No.: I-005

ページ:3/4

3.冷却カプラ取り付け部寸法

ホース(ホースバンド)の干渉により冷却カプラに負荷が掛かり、カプラ取り付け部からの水漏れにより、 ショート不具合が発生した為、カプラ取り付け位置は下記寸法を遵守する事

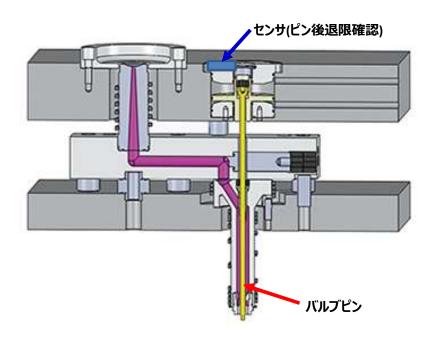




	(単位:mm)
X	50以上
Υ	50以上

4.バルブゲートピン後退センサ設置

バルブゲートシステム搭載の金型で、バルブピンの摺動不良によりゲートが全開せず、 ショート不具合が発生した為、バルブピンの後退限位置にセンサを設置し、ゲートが全開したかを検知させる事



名称:SWS金型製作標準

No.: I-005

ページ:4/4

5.型内配線コード押さえ板設置

金型内に配線したセンサ等のコードが、溝からはみ出した状態(挟み込み)で組付けされたことにより、 EJピンが飛び出して形状不良が発生した為、配線コードのはみ出しを防止する押さえ板を設置する事

